

エピローグ

—後は安らぎの沈黙—

私はちょうどロバート・ブラスタインの素晴らしい本「若き俳優達への手紙」を再読し終わったところです。エールドラマスクールの前学部長、教師、俳優、監督、脚本家、批評家、そして劇場の長きに渡る中心人物であるブラスタインは2百以上もの劇場制作を指導してきました。彼はエール・レパトリー劇場とハーバードのトニー賞受賞アメリカンレパトリー劇場の創始の芸術監督、そしてハーバードの上級劇場訓練機構の創始者であります。メリル・ストリープとケビン・クラインがロバート・ブラスタインによって最初に導かれた多くの輝かしい舞台俳優のうちの人達です。

この半世紀に亘り、私は演技と劇場での人生に関する何百冊もの本を読んで来ました。ブラスタインの本が一番です。この本の最後のページにあたり、私自身の見解の幾つかを、ブラスタインが提案している英知一特に、どのように俳優がそのキャリアを築くかという話題について一加えたいと思います。

俳優志望の人達が、私達の職業をどのように始めたら良いかと私に尋ねる時にはいつも、私は私が経て来た道に続くことを考えるように提案します。それはこの本の中ですでに述べていますが、いくつかの変形も可能です、私が知る限りそれらの全てが良いと思います。一つはニューヨークへ行くことです、アメリカの劇場演劇の中心、そして劇場芸術の文学士号を追求しながら、素晴らしい大学のドラマ学部に登録することです。もう一つはロサンゼルスに行き、UCLA、USC あるいは、他の西海岸の一流の大学の演劇学校に入学することです。そして三つ目の選択肢はシカゴへ移り、そこの素晴らしい学校のうちの一つ（ノースウェスタン、あるいは、グッドマン劇場）で学び、ステッソウルフ・カンパニのような、地方劇場での仕事の機会を探すことです。

私がブランスタインと異なるのは彼が初期の大学生活の全てを学業に没頭するようにアドバイスしている点です。私は多少異なることを提案します、そしてそれはやり通すには簡単ではありません、それは学校の中でも外でも混ぜ合わせ、出来るだけ沢山演技をすることだからです。

私が優秀なロサンゼルス市立大学のドラマ学部に入学したときには、私はジェリー・ブランド（厳格で、卓越した演技の先生で、もう一人の博士号を持っている人名前が載っていたのですが、彼が真の学部の長でした。）に、私がプロの俳優の仕事―「小劇場」で働くこと、当時は同一労働賃金が払われる仕事、を探すつもりであることをはっきりとさせました。私はジェリーに学校の制作とプロとしての仕事を選ばなければならないときはいつでも、仕事を決める前に必ず彼の許可をもらうことを約束しました。そしてジェリーの権限で、私の提案に同意し全面的に支援してくれたのです。

このように、ジェリーはハリウッドの映画と舞台の両方に於いて、役を得るためのオーディションへの臨み方を、早い段階から学ぶのを許可してくれまし

た。これが私を、当時ハリウッドで一番の小劇場、ステージソサエティのメンバーになることを可能にしてくれたのです、そして本当の舞台の世界で、一拒絶の続く世界で—私の仲間の学生達よりも2年早く出発できたのです。

在学中にこの2つの道をたどることはまだ可能なのでしょうか？確かに50年代の昔よりは難しくなっているでしょう、そして当時でも十分難しかったです。しかし、やってみる価値はあると思います。私にはとても有効でしたから。

しかし、ここで大きな疑問があります：そもそも人は何故、見せかけの世界を技能のために、人生を捧げるのでしょうか？劇場は（映画やTVも含めて）は、その難解な技能を実践している人、あるいはついでに言えば、社会全体に、単なる金銭以上の真の価値を、提供しているのでしょうか？

ブランスタイン教授は彼の「反演劇偏見」についてのこの章で、2500年以上も前にプラトーが「共和制」の中で述べた俳優と演技に対する軽蔑を引用して述べています。

哲学者は警告しています、「ある人が何らかの人物を装い、そして何ものかを模倣するだけ十分に賢ければ、我々の国を訪れ、演じるべきでしょう。我々はそのような奇跡的な力に頭を垂れ、毛織物を授け、ラム酒を頭にすり込むでしょう、そして彼を丁重によその国との国境へ案内するでしょう。

プラトーに取って、俳優の才能は「誰かを装い模倣をする」ことは「奇跡的」、驚異的で称賛に値する—そしてとても非常に危険なことだったのです。それゆえに俳優は、「共和制」に描写された理想的な社会から追放されるべきだったのです。

プラトンは俳優たちと問題がありました。彼は彼らの感情を誘発する才能を彼の秩序だった、完璧な共和制社会にとって脅威であると考えました。より望ましい選択肢は明白でした：政治です。人の社会における偉大な価値を追求する最大の力の取り組みが、劇場と言う全てが真実、あるいは全く真実ではないかもしれない影の社会よりも、明らかに望まれたのです。彼の共和制から演劇を追放することで、プラトンは素晴らしく知的で社会的才能を持った人々を、芝居と言う中身の無い、儂い喜びによりも、遣り甲斐のある仕事にそれらの技術を捧げるように奨励したかったのです。

数世紀後に、演劇が古代ギリシャの中世後、長い失墜から再び咲いたときに、フランスの哲学者、ジャン・ジャック・ルソーがプラトンの思いつきを引っ張りだしました。「なんと！」と彼は言いました。「プラトンはホメロスを彼の共和制から追放し、私達はモリエールに我慢するのか？」そして俳優についてルソーは警告しました：

もし彼らが成功のために芸術と陰謀を結合するならば、私は、彼らが権威者になるまで30年も与えない。政治家の候補者達は彼らに有利なように策略するであろう。選挙は女優の控え室で行われ、自由な人々の先導者は俳優の一段に支配されるであろう。

ルソーは冗談を言っているのですが、彼の最善の冗談の多くのように、彼の冗談にはその先に刺があります—真実という刺。ルソーの悪夢は今や現実の世界でありふれたことになりました。今日の政治家達が俳優を味方に招くだけでなく、彼らが俳優になり、用意周到に準備された記者会見、演出された写真撮影、30秒コマーシャルという舞台上で演劇の技術を実践しています。これは、

同様に、プラトールとルソーがとても強力で、誘惑的。。。そしてとても破壊的であることに気づいた、うわべとみせかけの才能を政治手腕の世界に適用して、俳優達に政治に関わることに発奮させます。

私は政治と演技の間の交点につき多く以上に知っていると思います。私はその交わる場所に人生の多くを費やしました。私は繰り返し、政治に“干渉”していると非難されました(まるで俳優は市民の誰もが持っている自由な発言の権利がないかのように) ;繰り返し、支持者から政治の世界に名乗りを上げるように促されました。私は誘惑に抵抗してきました。私は自分の力と限界、能力そして気質的な傾向を知っています—そして私の個人的な悪魔がどこに隠されているかも知っています。一人のプロとして、自分が導き享受してきた人生に、正に適しているのです—わくわくする、驚くべき、楽しく、ぞっとするような、感動的な人生、そして何よりも、舞台やスクリーンで観客を楽しませる人生。そして、一市民として、公の舞台で果たしてきた私の役割が向いているのです—好奇心が強くて国の将来を案じる傍観者、時々うるさい批評家、献身的な投票者そして私が正当だと信じる主義の支援者として。

演劇人達の世界で人生を過ごした者として、私は、ルソーの悪夢が達成されるのを、俳優達が(プラトールの哲学者達よりはむしろ)社会を牛耳る世界を見ることを望まない、信念を持って言うことができます。プラトールのように、私は世界をより良くするこの責務は最も気高い人間の仕事であると考えます、そして私の最も高い敬愛を、彼らの生命と才能をこの責務に捧げた人達のために取ってあります— 私達の世界の、ザ・ロバート・F・ケネディ、ザ・マーティン・ルーサー・キング、そしてザ・ネルソン・マンデラに。

しかし、プラトールと異なり、私は俳優達を私の理想の社会から追い出しはしません(そしてそれは自分本位な理由からだけではありません)。プラトールと

ソーは俳優の芸術と政治家達の芸術の間の類似を指摘した点で正しかったのです。両者ともに言葉、ジェスチャー、表現、そして声の抑揚を、観衆の感情に訴えるために使います。その最も優れた技術で、両者ともに熱烈な同情を見物人達から引き出すことが、そして全ての正しい考えの人々が強く非難するであろうその言葉と功業に対し、同意さえも（少なくとも一時的に）引き出すことが出来るのです。これが、民衆指導者の力なのです、そして酔いの回りやすいビールなのです—私が数十年前に、「エンドアズアマン」で精神病、しかしカリスマ的なジャコー・デ・パリの役を演じた時に学びました。

しかし、この類似は完全なる共和制から俳優を追放する理由にはなりません。正に反対なのです。恐らく、演劇の方法を教え込まれ、役者の欺きの魅力に熟知している市民が、一番良く専制君主に成りうる誘惑を認識出来、それに反抗することが出来るのではないだろうか？

恐らく、もし一時間旅行の奇跡を通して—セイラムの良き市民達がアーサー・ミラーの「るつぼ」公演を見ることができていたなら、魔女狩りなど決して起こらなかったでしょう。

シナトラの歌のように「後悔、少しはある」—でもほとんどありません。1960年代、私に一番力が有ったときに、取り組んでおけば良かったと思う幾つかの偉大な舞台の役があります：シラノ、オディプス、リチャード3世、ヘンリー・ヒギンズ教授、そして一握りの他の役（ベトナムとその時代のその他騒々しい出来事が道を阻みました。）そして私は、歌うことを習って入れれば良かったと思っています。

しかしそれ以外は、あなたがちょうど読んだように、私は非常に幸運な人生を歩んできました。それを分かち合ってください、有難うございます。